

地域高規格道路 松本糸魚川連絡道路

～今後の進め方～

平成31年2月4日(月)
長野県安曇野建設事務所
安曇野市

1

本日の説明内容

- ◆これまでの経過について
- ◆安曇野市から県へ要望書提出経過について
- ◆今後の進め方について

2

これまでの経過

H6 「候補路線」、H10 「計画路線」、H11 「調査区間」に指定

H12・13 住民説明会、意見交換会を開催

H15 国が地域高規格道路の構造要件を見直す(現道活用も可能になる)
県が現道活用ルート及び起点の変更(波田町から豊科IC付近)を表明

H20 4ルートと比較し、豊科北ルートが一番有利な案と評価し公表

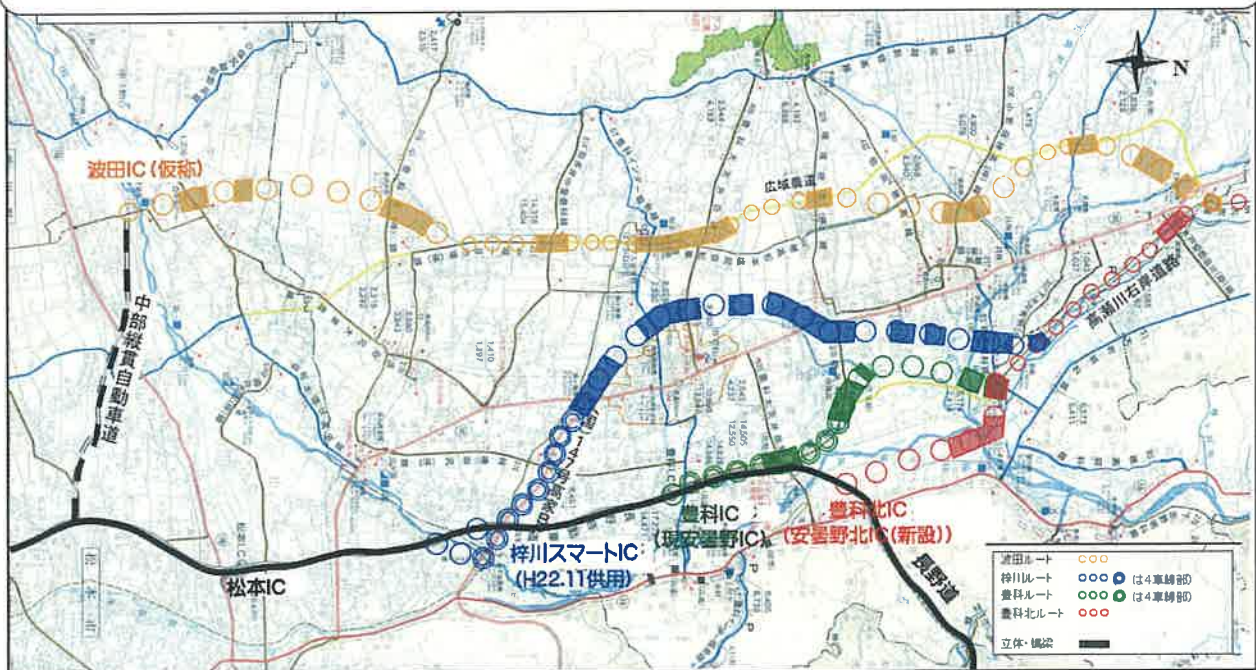
H23 (仮称)安曇野北ICを起点とした概略ルート案を公表し、Bルートを基本とした説明

H28.1 計画案(安曇野北IC(仮称)～大町市街地南)を公表
起点を安曇野北IC(仮称)とし、平成23年度公表のBルートを修正
高瀬川右岸道路を一部改良(追越車線4箇所、立体交差1箇所)

3

平成20年度 公表 ルート (起点部詳細図)

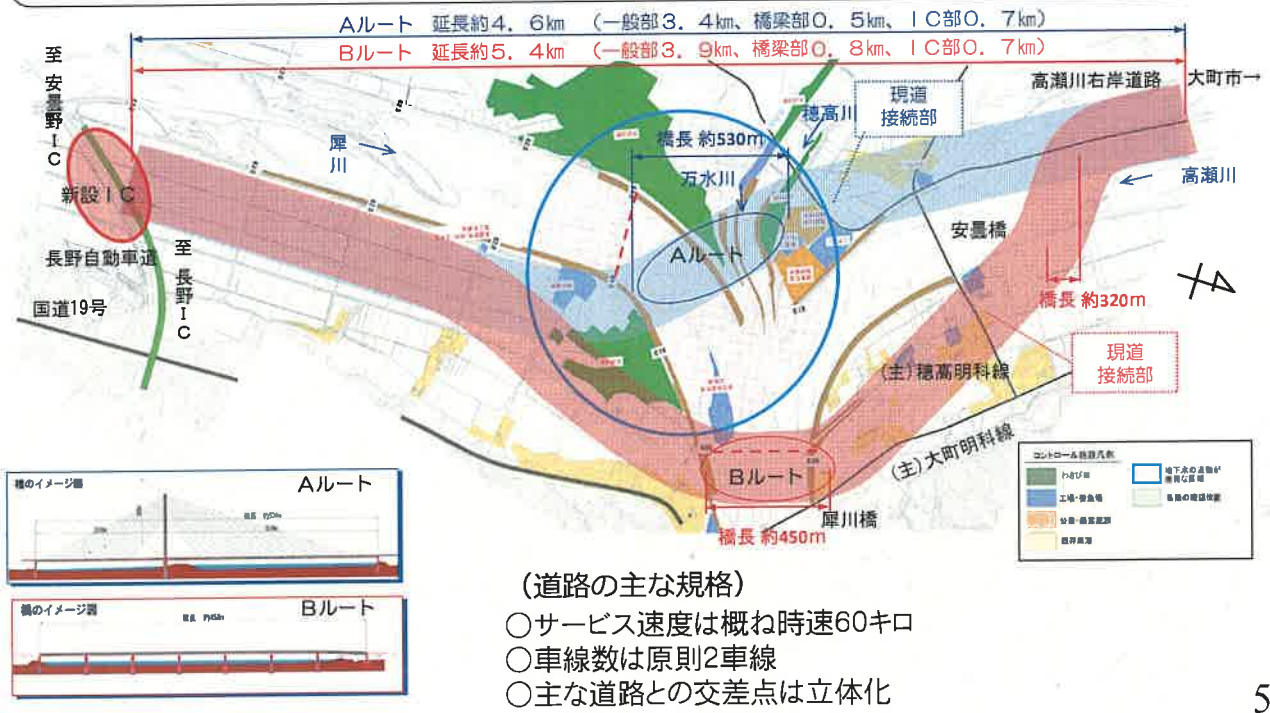
H20 4ルート(波田ルート、梓川ルート、豊科ルート、豊科北ルート)を比較し、豊科北ルートが一番有利な案と評価し公表



4

平成23年度公表 概略ルート (起点部)

H23 (仮称)安曇野北ICを起点とした概略ルート案を公表し、
Bルートを中心に進めて行く旨説明

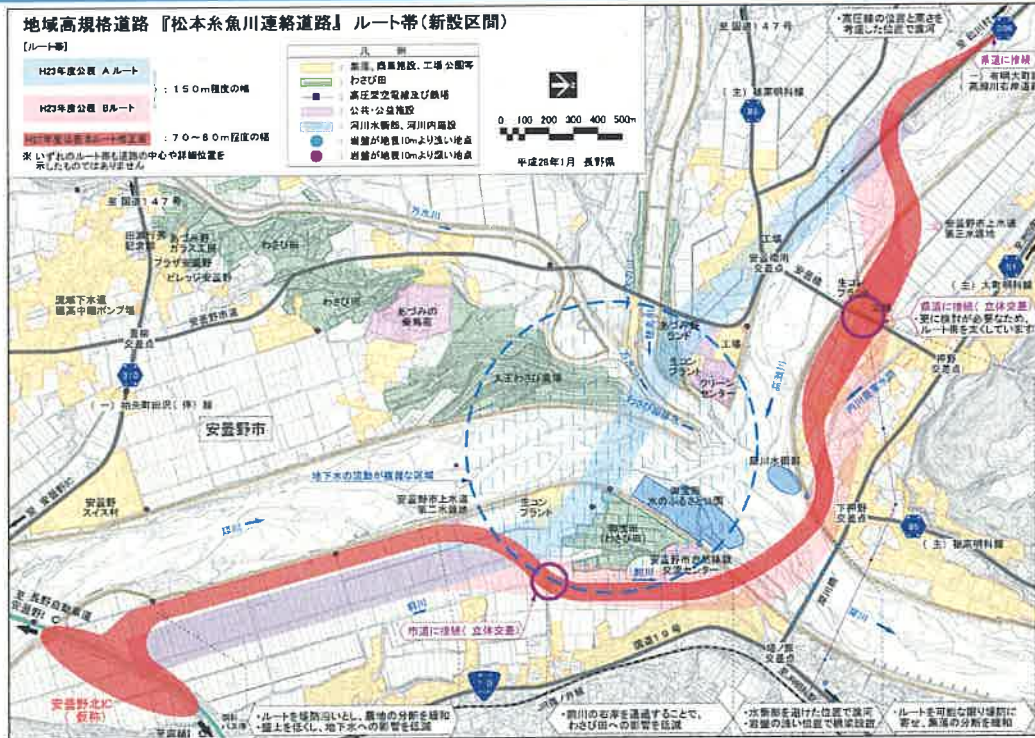


平成28年1月公表 整備方針とルート帯

H28 計画案(安曇野北IC(仮称)～大町市街地南)を公表
設計速度60km/h(一般道路・2車線)
起点を安曇野北IC(仮称)とし、平成23年度公表のBルートを修正
高瀬川右岸道路を一部改良(追越車線4箇所、立体交差1箇所)



平成28年1月 公表ルート（案）



・平成28年10月30日～12月11日

ルート公表後の意見交換会を実施

7

安曇野市から県への要望書提出経過

・平成30年 9月11日 意見集約会開催

➢ 以下の7項目に意見集約

| 項目 | 意見の概要 |
|------------|---|
| (1) 住環境 | 住環境への影響に配慮したルート等を検討願いたい。 |
| (2) 農地 | 優良農地であることを十分認識した上で、農地への影響をできる限り低減する計画とされたい。 |
| (3) 景観 | 残したい美しさと言われた場所であり、住民・関係者と十分協議した上での計画が望ましい。 |
| (4) ルート | Bルートありきではなく、Aルートを含め幅広く調査・検討し、地域の利便性向上や観光振興に寄与する計画が望ましい。 |
| (5) 現道活用区間 | 現道活用区間の立体化、追越車線については、周辺のアクセス性、利便性を十分に調査・検討した設計が望ましい。 |
| (6) 道路の必要性 | 必要性和整備効果について、地域へのメリット・デメリットを含め丁寧に説明されたい。 |
| (7) 事業の進め方 | イメージパース図を使うなど住民がイメージしやすい説明をされたい。今後の進め方の手法、スケジュールを明確にされたい。 |

8

安曇野市から県への要望書提出経過

●平成30年11月22日

地域高規格道路「松本系魚川連絡道路」建設事業に関する要望書を
安曇野市長、市議会議長連名により県建設部長へ提出

要望要旨

- 松本系魚川連絡道路は、広域的な道路ネットワークを形成する道路として重要な道路。
- 市にとって、商工業、観光産業などの発展に寄与し、将来のまちづくりにとっても必要な道路。
- 県とともに地域の皆様をはじめ関係者との協議、打合せを行い、事業の前進に向け連携を密にしていく。
- ルートの再検討にあたっては、地域の貴重な意見である意見集約結果を基に検討。

「Aルートの実現性を含め、地域の理解が得られるルート」の詳細な調査、再検討を要望

県建設部長回答

“重く受け止め、真摯に対応します”

9

今後の方針

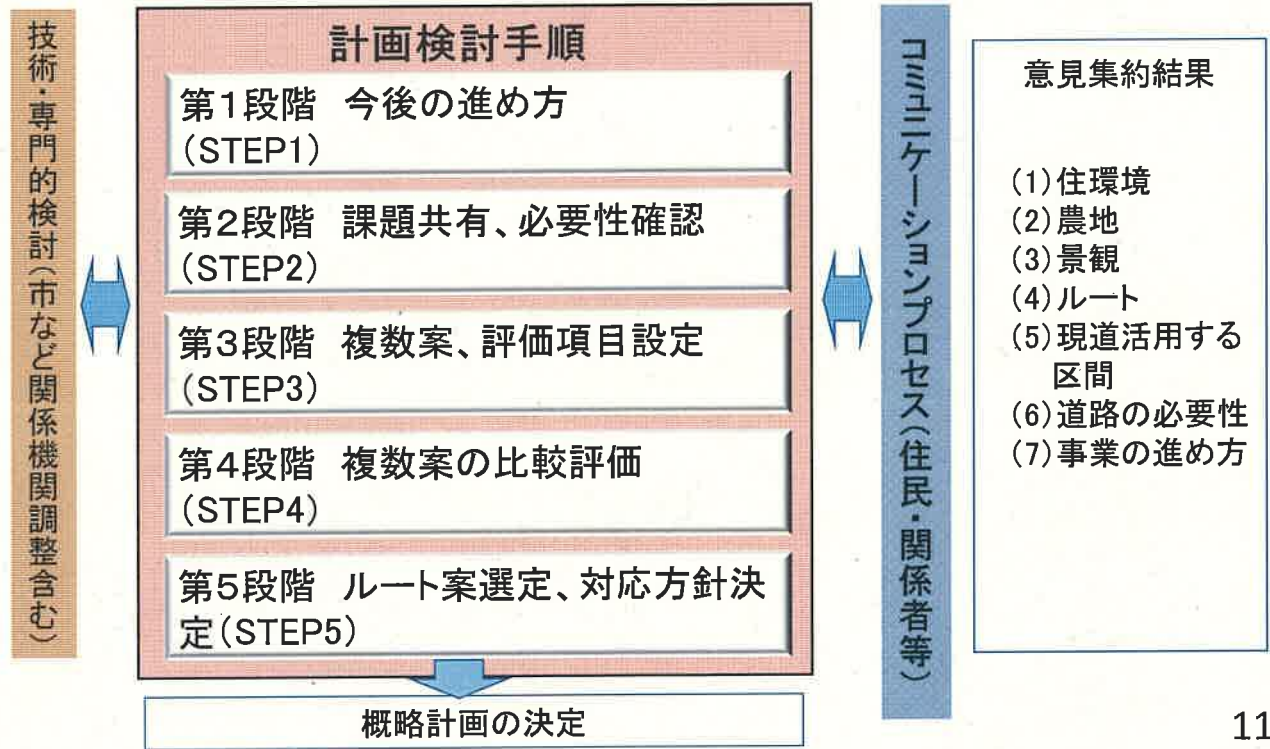
- ◆ルート案を検討する過程から、地域の皆様と意見交換を行い、ルートを決定していきます。



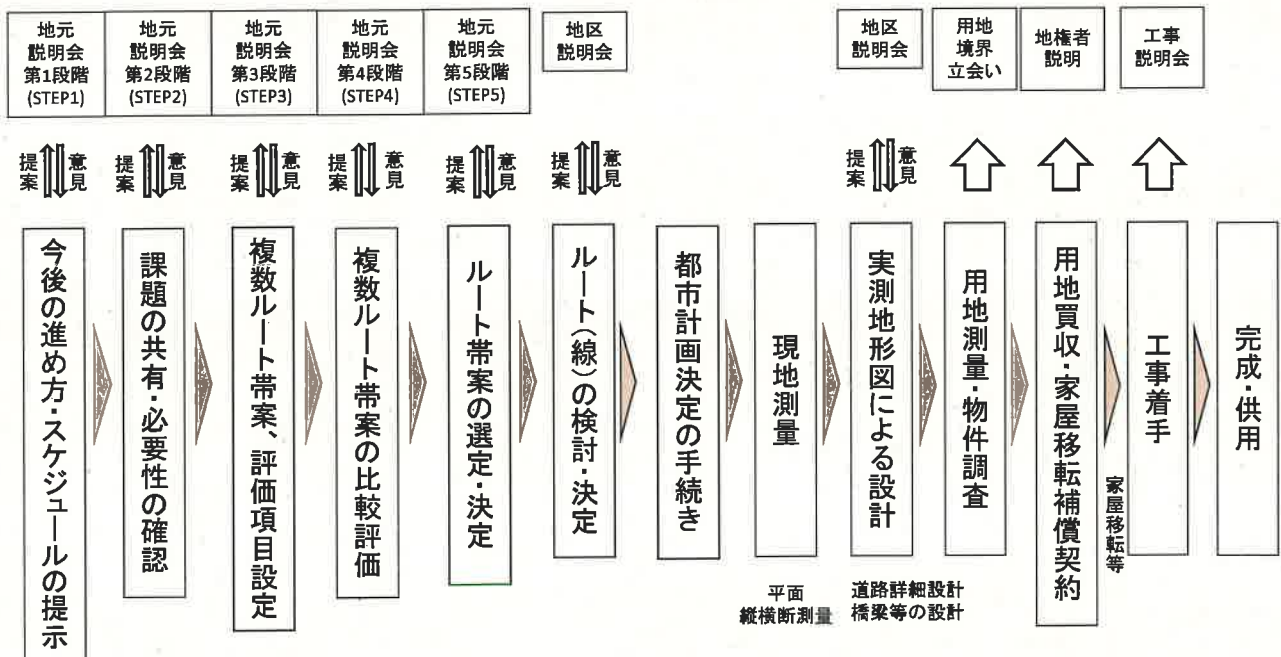
10

今後の進め方

◆ ルート案を検討するにあたり、5つの段階を踏んで、地域の皆様と意見交換を行いながら進めます。



事業の流れ (スケジュール)



今後の進め方 (STEP 1、2)

第1段階 今後の進め方(STEP1)

- 今後の進め方の提示
- 全体スケジュールの提示
- 地域の皆様と意見交換等を行いながら、計画を決定してく手法の提示

第2段階 課題共有、必要性確認(STEP2)

- 現状分析
- 社会情勢の変化を踏まえた課題の整理と目標の設定
- 地域へのメリット、デメリットを含めた道路の必要性の確認

13

今後の進め方 (STEP 3)

第3段階 複数案、評価項目設定(STEP3)

○複数案の設定

- 複数ルート帯案の提示
- ルート線の案、パース図など、計画道路のイメージができるものを提示

14

今後の進め方 (STEP3)

第3段階 複数案、評価項目設定 (STEP3)

○評価項目の設定

- ・ ルート帯案選定時の判断材料となる評価項目を提示し設定
- ・ 評価項目の例
 - ①交 通…時間短縮、渋滞解消、交通事故減少、救急搬送時間、広域ネットワーク形成など
 - ②環 境…大気質、騒音、景観、地域住民への影響など
 - ③土 地 利 用…農業の影響、沿道商業施設への影響など
 - ④地域活性化…観光振興、地域振興など
 - ⑤事 業 性…概算事業費、施工時の影響、事業期間、用地取得、部分供用の可否など
 - ⑥そ の 他…災害リスクなど

15

今後の進め方 (STEP4、5)

第4段階 複数案の比較評価 (STEP4)

- ・ 設定した評価項目を比較評価
- ・ 項目ごとに○×等により評価し、ルート帯案の優位性を判断

第5段階 ルート案選定、対応方針決定 (STEP5)

- ・ 評価結果を踏まえ総合的に判断し、最適ルート帯案を提示
- ・ 最適ルート帯案の選定、対応方針の決定

◆この進め方を実施するにあたり、複数ルート案の検討などのために必要な三川合流部の地質調査等を実施

16

